

# 平成 25 年度 全国学力・学習状況調査の結果報告

## 【香美町の結果概要の公表と対策】

### 1. 調査結果の報告

平成25年4月24日(水)に、香美町の全ての小学校(10校)の6年生、中学校(4校)の3年生を対象に、児童・生徒の学力や学習状況の調査を行いました。

そこで、あくまでも学力の特定の一部ではありますが、調査結果から分かる状況や課題点を示すとともに、今後の対策を付け加え、結果の公表といたします。



### 2. 香美町全体の小・中学校の学力調査の結果

※調査結果の分析の基準

	全国平均を100とした時の割合	段 階
1	+5.1%以上	上 回 る
2	±5.0%以内	同 程 度
3	-5.1%以下	下 回 る

#### ◆小学校

教 科	領 域	香美町の結果	※兵庫県の状況
国 語	A(知識)	同 程 度	同 程 度
	B(活用)	同 程 度	同 程 度
算 数	A(知識)	同 程 度	同 程 度
	B(活用)	同 程 度	同 程 度

#### ◆中学校

教 科	領 域	香美町の結果	※兵庫県の状況
国 語	A(知識)	同 程 度	同 程 度
	B(活用)	上 回 る	同 程 度
数 学	A(知識)	同 程 度	同 程 度
	B(活用)	上 回 る	上 回 る

### 3. 学力調査結果

#### ◆小学校 国語

	良好な点	課題点
A(知識)	<p>○伝統的な言語文化と国語の特質に関する領域で、学年別漢字配当表に示されている「漢字を正しく読む」こと。</p> <p>○伝統的な言語文化と国語の特質に関する領域で、「ことわざの意味を理解する」こと。</p>	<p>●書く領域で、「文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く」こと。</p> <p>●書く領域で、「言葉の使い方に関する資料を読み取り、分かったことを的確に書く」こと。 ※記述式な回答に課題がある。</p>
B(活用)	<p>○聞く領域で、「相手の立場や状況を文章の中から読み取る」こと。</p> <p>○伝統的な言語文化と国語の特質に関する領域で、「目的や意図に応じ、必要な内容を適切に書き加える」など</p>	<p>●書く領域で、「目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書く」こと。</p> <p>●書く領域で、「目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書く」こと。 ※記述式な回答に課題がある。</p>

#### ◆小学校 算数

	良好な点	課題点
A(知識)	<p>○数と計算、数量関係、図形の領域で、「計算や作図に関する」こと。</p> <p>○数量関係の領域で、「( )を用いた整数の計算」や「測定に関する計器などの名称に関する」こと。</p>	<p>●量と測定の領域で、「単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解(選ぶ)する」こと。</p> <p>●図形の領域で、「三角形ABCと合同な三角形を書くために必要な条件を理解(選ぶ)する」こと。</p>
B(活用)	<p>○図形の領域で、「示された情報から、特定の位置を求める」こと。</p> <p>○量と測定の領域で、「図に示された分割の仕方とその説明とを対応させる」こと。</p>	<p>●量と測定、数量関係の領域で、「表から適切な数値を取り出し、比例の関係でないことを記述する」こと。</p> <p>●数量関係の領域で、「グラフから比較量の大小を判断し、理由を記述する」こと。</p>

## ◆中学校 国語

	良好な点	課題点
<b>A(知識)</b>	<p>○読む領域で、「文脈の中の語句の意味を理解する」ことや「文の描写の内容を理解する」こと。</p> <p>○伝統的な言語文化と国語の特質に関する領域で、下記のこと。 (※文に即して漢字を書く、読む、語句を使用する、敬語の理解と使用、歴史的な仮名使いを理解)</p>	<p>●書く領域で、「目的に応じた表現に直す、伝えたい事柄を明確にして書く」こと。</p> <p>●伝統的な言語文化と国語の特質に関する領域で、「漢字(帯を選ぶ、今年の夏の暑さに閉口した)を書いたり、比喻を用いた表現を理解する」こと。</p>
<b>B(活用)</b>	<p>○読む領域で、「文章の展開から内容を捉える、表現の効果を理解する」こと。</p> <p>○読む領域で、「情報を関連して読む」こと。 ※県、全国より優れている。</p>	<p>●読み書く領域で、「調べたいことと、調べる方法など具体的に書く」こと。</p> <p>●読む領域で、「図と文章との関係を捉える(選択する)」こと。</p>

## ◆中学校 数学

	良好な点	課題点
<b>A(知識)</b>	<p>○数と式の領域で、「計算する、解く、等式の性質を選ぶ」こと。</p> <p>○特に、数と式の領域で、「( )を含む正の数と負の数の計算、数量の関係を連立二次一次方程式で表す」こと。</p>	<p>●資料の活用の領域で、「ヒストグラムからの相対度数を求めること、確率の意味を理解する」こと。</p> <p>●関数の領域で、「意味の理解や関数の表から変化の割合を求める」こと。</p>
<b>B(活用)</b>	<p>○図形の領域で、「証明の方針を立てる」こと。</p> <p>○関数の領域では、「表から適切に選択し、処理する」こと。 ※県、全国より優れている。</p>	<p>●関数の領域で、「数学的な表現を用いて説明する」こと。</p> <p>●資料の活用領域で、「事象を数学的に説明したり、解釈する」こと。</p>

## 【学力調査結果の総括】

### 《小学校》

小学校の国語、算数の状況は、どちらも全国や県の平均と同程度であるが、知識(A)より、活用(B)において、やや課題がみられた。

具体的には、国語では、「漢字を正しく読む」「状況を文章の中から読み取る」などは、おおむね良好であるが、「接続語を使って書く」「具体的に書く」「記述式で答える」などの点で、課題がみられた。

また、算数では、数と計算、数量関係、図形領域などの「計算や作図」に関する点などは、おおむね良好であるが、「数学的な意味の理解」「必要な条件を述べる」「記述する」「理由を述べる」などの記述で答える点で、課題がみられた。

### 《中学校》

中学校の国語、数学の状況においては、どちらも「活用(B)」の調査が、全国や県の平均よりも上回る結果が出ていた。

具体的には、国語では、「読み取る力」や「内容を理解する力」は、全国や県に比べると良好である。しかし、「目的に応じた表現で明確に書く」、「まとめて書く」などにおいては、少し課題がみられた。

また、数学では、「数と式の領域での計算」や「証明の方針を立てる」などは良好であるが、「数学的な用語の理解」や「数学的な表現を用いての説明」などの点においては、やや課題がみられた。

### 《総括》

本年度の小・中学校の結果(全国・県に比べて「同程度」、又は「上回る」)は、各校で実施している「朝の読書」、「学習タイム」の時間の確保や各授業における教科指導の成果が現れていると考えられる。

一方、各教科の記述式の問題については、課題が見られるため、今後は「短くまとめて書く」「理由を説明する」などの言語活動を取り入れた学習を推進する。

また、一斉指導などの授業を見直し、個に応じた授業を展開するために、指導体制や学習形態、指導法などの工夫改善を図ることが大切である。



## 4. 学習状況調査結果

### ◆ 小 学 校

良好な点	課題点
<p>① 家庭で予習や復習の時間を設ける。</p> <p>② 算数の授業内容は良くわかる。</p> <p>③ 規則正しい生活ができている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・毎日、朝食を食べる。</li><li>・午後11時ごろまでには寝る。</li><li>・午前7時までには起きる。</li></ul> <p>④ 地域の行事に参加する。</p>	<p>① 家庭での学習時間が少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>※平日で、1時間未満が多い。</li><li>※土日で、2時間未満が多い。</li></ul> <p>② 読書はあまり好きでない。</p> <p>③ 家庭での読書時間が少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>※平日で、1時間未満が多い</li></ul> <p>④ 地域や社会への関心が少ない。</p> <p>⑤ 地域の中での自己の役割が感じられない。</p>

### ◆ 中 学 校

良好な点	課題点
<p>① 土・日の家庭での学習時間は多い。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・3時間以上の学習時間</li><li>※学習時間:学習塾や家庭学習の時間</li></ul> <p>② 家庭で予習や復習の時間を設ける。</p> <p>③ 規則正しい生活ができている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・毎日、朝食を食べる。</li><li>・午後12時ごろまでには寝る。</li><li>・午前7時までには起きる。</li></ul> <p>④ 地域の行事に参加する。</p> <p>⑤ 地域や社会への関心や地域の中での自己の役割を感じている。</p> <p>⑥ 家の人と学校での出来事を話す。</p>	<p>① 平日の家庭での学習時間が少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>※平日で、2時間未満が多い。</li></ul> <p>② 読書はあまり好きでない。</p> <p>③ 家庭での読書時間が少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>※平日で、1時間未満が多い。</li></ul> <p>④ 国語や数学の授業内容がよく理解できない生徒もいる。</p> <p>⑤ 3割の生徒に自尊感情が乏しい。</p>

## 【学習状況調査結果の総括】

小学生や中学生ともに、全国や県に比べるとおおむね規則正しい生活ができており、早寝、早起き、朝ご飯といった生活態度には課題は見受けられない。

しかし、両者ともに平日の家庭学習の時間は、宿題や予習はするものの、全体的な学習の時間は全国や県に比べると少ない状態にある。

また、読書への関心も全国や県と比べると低い状態にあり、家庭での読書の時間もやや少ない状態になっており、本町の小・中学校の課題点であると言える。

また、小学生だけの結果をみると、地域への行事の参加が全国からみても多いにもかかわらず、「関心が少ない」や「地域の中での自己の役割」等が感じられない等と課題をもっている。

一方、中学生においては、全国的にみても地域の行事へ参加する生徒が多く、「地域や社会への関心」が高く、「地域の中での自己の役割」を感じている生徒が多かったり、「家の人に学校での出来事を話す」生徒の割合は、全国に比べると高い状態にある。

しかし、学校での学習においては、「授業内容」がよく理解できないという生徒の声もあり、今後は、個に応じた授業への改善が必要である。



## 5. 今後の対策

### (1) 学校での対策

学力調査の結果や学習状況調査の結果から、学校では、課題点を克服する授業、個に応じた授業や指導を学校教育の全領域で行うことが大切である。

よって、次の点に取り組む。

- ① 各校の調査結果の「課題点」を克服する指導を展開する。
- ② 教科指導やチャレンジプラン等で「**学び方**」を身に付けさせる授業を推進する。
- ③ 朝学習、教科学習など、基礎・基本を徹底する時間を充実する。
- ④ 教育活動の場で、「本の活用」を推進する。
- ⑤ 家庭や地域と連携した「読書活動」を推進する。
- ⑥ 家庭学習(宿題)の内容など、個に応じた課題の学習を推進する。



#### 「**学び方**」を身に付けさせる授業の展開例

「個性を認め、個を伸ばす授業」を推進する

問題解決的な学習の授業の実施

【展開の留意点】	【期待できる効果】
<p>(1) 学習の展開例</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① つかむ (課題の自己決定)</li> <li>② 見通す (学習の見通し)</li> <li>③ 追求する(自力解決、成果の共有)</li> <li>④ まとめる (学習のまとめと自己評価)</li> </ol> <p>(2) 指導に当たっての留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 個に応じた指導の展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の関わり方や声かけの重視</li> </ul> </li> <li>② 見通し、振り返りの時間の設定</li> <li>③ 言語活動の時間の設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明や解説、話し合いの時間</li> <li>・文章表現(書く)する時間</li> <li>・聞き取る時間</li> <li>・比較、考察する時間</li> </ul> </li> <li>④ 自己評価や個人的評価の重視</li> <li>⑤ 発展学習への展開</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「<b>学び方</b>」を身に付けさせる学習となる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習への主体性が育つ。</li> </ul> </li> <li>②<b>本町の課題</b>を解決することにつながる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習により、「<b>本が好き</b>」になる。</li> <li>・達成感や成就感により、自分に自信が付き「<b>自尊感情</b>」が高まる。</li> <li>・「<b>授業内容</b>」を理解する生徒が増えることにつながる。</li> </ul> </div> </li> </ol> <p style="text-align: center; background-color: #e0f0ff; padding: 5px; border: 1px solid #0070c0; margin-top: 10px;">授業を進めるにあたっての学習形態や指導方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①習熟の程度に応じた学習を進める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々のレディネスを把握して実施</li> </ul> </li> <li>②多様な学習形態も活用する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一斉学習      ・ 個別学習</li> <li>・ グループ学習      ・ ペア学習</li> </ul> </li> <li>③課題に応じた手段を使う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験的な学習活動(観察、実験、調査、研究)の採用</li> <li>・ ICT機器の効果的な採用</li> </ul> </li> </ol>

## (2)家庭での対策

家庭での課題が、「家庭での学習時間が少ない」「読書があまり好きでない」などの状況から、学校と連携し、次のように家庭でも家庭学習の充実に取り組む。

- ① 家庭学習に、「調べ学習」「繰り返し学習」「読書」などの時間を設け、学習習慣を身に付けさせる。
  - ・ 「調べ学習」とは：学校での学習課題や苦手な教科の予習など、ノートなどに調べてまとめる学習
  - ・ 「繰り返し学習」とは：テストの間違い箇所や計算、漢字の反復などの学習
  - ・ 「読書」とは：読み物や調べ学習等の資料本を活用することによる読書
- ② 家庭学習の時間は、平日で「1時間以上」を目指し、個々で時間を決めさせて行わせる。
  - ・ 全国平均は、小学生高学年で2時間、中学生で3時間程度（※平日）
  - ※ただし、学習時間は、習い事や読書も含む。



## (3)地域での対策

地域の中での課題が、「地域や社会に関心がない、自己の役割が感じられない」などがあるため、次のように地域の協力を得て取り組む。

- ① 地区行事を子どもたちにとって魅力あるものにする。
  - ・ 役割が感じられ、存在感がある行事にする。
- ② ふるさとに愛着を持たせるために、地域の行事に参加させ、ふるさとの良さや「地域の価値」を伝える行事にする。
  - ・ 地区公民館のふるさとおもしろ塾や放課後子ども教室にできるだけ参加させる。
  - ・ 事業の中で、「おいしかった」「楽しかった」「感激した」など、「地域の価値」を見出す体験活動を実施する。